

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	森林保全事業		所管課【2】	農林水産政策課
			評価者(担当者)	池本 秀一
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)農林業の振興		
	施策区分	(8)森林の多面的活用と整備		
	(市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 森林法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 県森林・林業・木材産業基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 2 目 2 細目 6			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	無秩序な森林の伐採や開発は、森林の荒廃を招き、山崩れや風水害による災害を発生させる原因となります。しかも森林の造成には超長期の年月を要することから一旦このような状態になってから森林の機能を回復することは容易ではありません。そのため長期的な視点に立った計画的かつ適切な森林の取り扱いを推進することが必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、森林所有者、森林組合
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	緑化意識の啓発や自然公園及び森林資源の保全を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・針広混交林促進事業普及業務(三者協定のもと森林間伐等を実施) ・林地開発許可(変更)申請に関する意見聴取業務(開発に関する意見照会) ・自然公園環境保全活動事業(維持管理・清掃活動) ・伐採及び造林届出業務(指導・助言) ・緑化推進事業(市みどり推進協議会の活動)
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 針広混交林化促進事業普及業務 ② 林地開発許可(変更)申請に関する意見聴取業務 ③ 自然公園環境保全活動事業 ④ 伐採及び造林届け出業務 ⑤ 緑化推進事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金			410		
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	524	1,818	897	519	
	【16】 小計	524	1,818	1,307	519	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	0.20	0.14	0.56	0.56	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
【17】 小計		1,122	759	3,037	3,037		
合計		1,646	2,577	4,344	3,556		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 針広混交林化促進事業普及業務	希望者を募集し、地権者・市・森林組合の三者協定のもと森林間伐等を実施する。	応募件数	件	6	2	0	10
② 林地開発許可(変更)申請に関する意見聴取業務	開発に関する意見照会	意見照会件数	件	1	1	1	1
③ 自然公園環境保全活動事業	県立自然公園の関係団体と連携した維持管理・清掃活動	清掃回数	回	1	1	1	1
④ 伐採及び造林届け出業務	届出書の提出を受け、指導・助言を行う	指導助言数	件	4	6	2	0
⑤ 緑化推進事業	市みどり推進協議会の活動	募資金額	円	2,044,930	1,922,253	1,811,160	2,000,000

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 森林間伐等の実施面積	森林間伐等の実施面積	ha	5	5	5	5
			6	1	0	
2 森林面積	森林面積	ha	2,361	2,361	2,361	2,575
			2,361	2,361	2,575	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	森林所有者である市民の財産、権利等を守ることができなくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	森林間伐等の要望が無かったため、目標を達成することが出来なかった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供などの極めて多くの多面的機能を有している森林を保全していく必要があるため、現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	森林保全事業は、森林所有者や近隣の市民の財産、権利等を守るために必要な事業であり、現状のまま継続していく必要がある。	評価責任者 本山 武志
------------------	--	----------------